

III 教育活動

雑誌名	鹿児島大学農学部農場年報
巻	1
ページ	24-32
発行年	2005
URL	http://hdl.handle.net/10232/20961

Ⅲ 教育活動

1 農場実習

1) 実習の概要

当農場は、年間14科目、80日、400名を超える学生に対して、計21単位にのぼる実習を行い、農業の科学的基礎である農学理論の実践の場、生物生産技術革新のための実験の場、生物生産業としての農業を支える農業経営者の育成の場として、本学農学部教育の理念を支える重要な役割を果たしている。実習は、畜産、果樹、野菜、花卉、作物、施設園芸といった農業のほぼ全分野にわたっており、植物、動物のライフサイクルをとおした体系的な実習を特色としている。

農場実習の学科（コース）別の科目、単位数および実習の種類は、第18表のとおりで、専任教員、兼務教員、協力教員および技術職員が一体となって進めている。

第18表 学科別実習科目、単位、人数および実習の種類

学科および大講座	学年	実習科目	単位	必修	人数	実習の種類
生物生産学科	1	生物生産学特別実習	1	必修	84	集中3日間（2回）
生物生産学科						
植物生産学	2・3	農場実習 A	4	必修	50	毎週1回月曜日終日
	2・3	農場実習 A	1	必修	50	集中3日間（2回）
家畜生産学	2	農場実習 B	1	必修	24	集中5日間（1回）
	3	食品加工実習 A	1	必修	24	集中4日間（1回）
	3	家畜生産学実習	1	選択	24	集中3日間（随時）
	4	家畜生産学実習	1	選択	24	集中3日間（随時）
農業経営経済学	2・3	農場実習 C	2	必修	12	毎週1回金曜日半日
生物資源化学科						
食品機能化学	3	農場実習 C	1	選択	15	集中5日間（1回）
	3	食品加工実習 B	1	必修	15	集中4日間（1回）
食糧生産化学	3	農場実習	2	必修	20	集中3日間（4回）
生物環境学科						
農林工学	2・3	農場実習 B	2	必修	20	毎週1回金曜日半日
生産環境工学	2.3	農場実習 C	2	必修	15	毎週1回金曜日半日
獣医学科	3	牧場実習	1	必修	33	集中5日間（1回）

2) 実習科目毎の日程および内容

(1) 生物生産学特別実習（必修）

対象：生物生産学科1年、84名

日程：集中実習（1期3日間・2期3日間）

単位：1

実習施設：学内農場農事部、唐湊果樹園、指宿植物試験場、入来牧場、高隈演習林

担当教員：遠城道雄・伊村嘉美・山本雅史・下田代智英・坂田祐介・橋本文雄・清水圭一・井倉洋二・黒田治之
担当技術職員：松元里志・福留弘康・田浦一成・川口昭二・野村哲也・中野八伯・福村和則・長野幸男・木山孝茂・谷村音樹・池田博文・花田博之・内村利美・片平清美・廣瀬 潤・西谷 篤・龍野巳代

目標：農業経験のない学生に生物生産のための基礎的技術を体験させ、生物生産の多面性および有機性を認識させる。

内容：非宿泊施設（学内農場農事部・唐湊果樹園）から1カ所、宿泊施設（指宿植物試験場、入来牧場、高隈演習林）から1カ所を選択させ、第19表に示すように、普通・園芸作物、施設園芸、森林および家畜生産についての基礎的な実習を行った。

第19表 生物生産学特別実習の実習内容（2005～2006）

月日	施設別の実習内容				
	学内農場農事部	唐湊果樹園	指宿植物試験場	入来牧場	高隈演習林
8/23					キャンプ生活、山歩きと森の見学
24					川の源流探検、星空と夜の森体験、キャンプファイヤー

教育活動

25		森のゲーム, 林業体験		
9/27	施設野菜管理	草生管理, 堆肥施用	熱帯性樹木類の整枝	牧場施設の説明
28	施設キク管理 水稲観察	防風樹管理, ピワ・ ブルーベリー等管理	灌水と栽培管理, 実 生・挿し木苗の鉢上 げ, 農業機械の操作	草地と家畜の管理実 習
29	野菜育苗管理	農業機械の操作, 果 樹の鉢植え管理	灌水と栽培管理	草地と家畜の管理実 習
2/21	花卉類鉢上げ, 土作 り, ポット土詰め	カンキツ園施肥, カ ンキツ収穫	熱帯性樹木類の整枝	牧場施設の説明
22	施設野菜管理花卉類 管理	防風樹管理, 挿し木	灌水と栽培管理, 実 生・挿し木苗の鉢上 げ, 農業機械の操作	草地と家畜の管理
23	野菜苗播種	剪定, 農業機械の操 作	灌水と栽培管理	草地と家畜の管理
3/7				キャンプ生活, 山歩き と森の見学
8				川の源流探検, 星空と 夜の森体験, キャンプ ファイヤー
9				森のゲーム, 林業体験

(2) 農場実習 A (必修)

対象: 植物生産学コース2年(4期)~3年(5期), 50名

日程: 終日実習(毎週月曜日)

単位: 4(30週)

実習施設: 学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場

担当教員: 遠城道雄・伊村嘉美・山本雅史・下田代智英・津田勝男・坂田祐介・橋本文雄・清水圭一・黒田治之
担当技術職員: 松元里志・福留弘康・田浦一成・川口昭二・野村哲也・中野八伯・福村和則・長野幸男・木山孝
茂・谷村音樹・池田博文・花田博之・内村利美・片平清美・廣瀬 潤・西谷 篤・龍野巳代

目標: 農業全般に関する基本技術の習得, 普通作物, 園芸作物のライフサイクルおよび普通作物, 園芸作物およ
び家畜などの成長と自然環境の関係を理解させる。

内容: 第20表に示すように, 附属農場4施設(学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場)を回
り, 普通作物, 野菜, 花卉, 果樹, 熱帯作物および家畜・飼料作物のライフサイクルを通じた観察と管理
技術の習得を目指した実習を実施した。

第20表 農場実習 Aの実習内容(2005~2006)

月日	施設別の実習内容					
	普通作物	野菜	花卉	果樹	熱帯作物	家畜飼料
4/11		堆肥散布		接ぎ木		
18	タマネギ収穫	野菜の自主栽培				
25					取り木	
5/2	甘藷植付け	自主栽培 施設栽培				
9	ヤムイモ植付け		キク母株定植 デルフィ交配採種 ツツジ植えかえ	防風林 草生管理		
23		自主栽培 施設栽培		ゴマダラカミキリ 防防	花木の挿し木	
30	水稲播種	自主栽培 施設栽培		ゴマダラカミキリ 防防	花木の挿し木	
6/6	水稲播種		デルフィ交配採種 トルコギキョウ袋掛	果樹施肥		成牛管理 草地観察
13			キク採種 デルフィ交配採種 トルコギキョウ袋掛	果樹施肥		成牛管理 草地観察
20	水稲田植え				観葉植物管理	
27	水稲田植え				観葉植物管理	
7/4	大豆播種		キク採種挿し芽 デルフィのトレイ植出			

		トルコギキョウ交配			
11	水稻成育調査	自主栽培, 施設栽培		カキ・カンキツ摘果	
10/3		施設栽培	キクの芽つみ		トケイソウ定植 ビニール張り
17	稲刈り	施設栽培	キクの芽つみ	カキ脱渋	
24	脱穀	施設栽培 タマネギ播種		カキ脱渋	トケイソウ定植 ビニール張り
31			デルフィ・トルコ栽培 スイートピー播種 キク収穫	カンキツ施肥	
11/7	大豆収穫	ジャガ定植 施設栽培	スイートピー播種		
21	大豆収穫	ジャガ定植 タマネギ定植			
28	大麦小麦播種	タマネギ定植		早生ウンシュウ収穫	植物株分け
12/5	大麦小麦播種	キャベツ定植	ガザニア播種	早生ウンシュウ収穫	植物株分け
12	大豆整粒	キャベツ定植	ガザニア播種	普通ウンシュウ収穫	小牛管理
19	大麦小麦中耕追肥	キャベツ追肥		普通ウンシュウ収穫	小牛管理
26	大麦小麦中耕追肥	キャベツ追肥	デルフィ・トルコ栽培	カンキツ果実袋掛け	
1/6	大麦小麦中耕追肥	キャベツ追肥 自主栽培計画	ガザニア鉢上げ	果樹園堆肥施用	トケイソウ誘引 ゴレンシ収穫
23	大麦小麦中耕追肥	キャベツ追肥 自主栽培計画	ガザニア鉢上げ	果樹園堆肥施用	トケイソウ誘引 ゴレンシ収穫
30		育苗土作り	デルフィ・トルコ栽培	カキ剪定	

注) 普通作物, 野菜, 花卉; 学内農場農事部・指宿植物試験場, 果樹; 唐湊果樹園, 熱帯作物; 指宿植物試験場, 家畜・飼料; 入来牧場

(3) 農場実習 B (必修)

対象: 農林工学コース2年(後期)~3年(前期), 20名

日程: 半日実習(毎週金曜日午後)

単位: 2(30週)

実習施設: 学内農場農事部, 唐湊果樹園

担当教員: 山本雅史・下田代智英・津田勝男・坂田祐介・橋本文雄・清水圭一・黒田治之

担当技術職員: 松元里志・福留弘康・田浦一成・川口昭二・野村哲也・中野八伯

目標: 農業全般に関する基本技術の習得, 普通・園芸作物のライフサイクルおよび普通・園芸作物などの成長と自然環境の関係を理解させる。

内容: 第21表に示すように, 普通作物, 園芸作物(野菜, 花・観賞植物, 果樹)などの栽培管理技術の習得と播種から収穫までの作物のライフサイクルを通じた観察と栽培管理の実習を行った。

第21表 農場実習 Bの実習内容(2005~2006)

月日	普通作物	分野別の実習内容		
		野菜	花卉	果樹
4/15		露地ナス・トマト・キュウリ栽培		
22				接ぎ木
5/6	ヤムイモ・甘藷植え付け			
13				果樹苗鉢替え
20			キク母株摘心・デルフィニュームの交配・種子採種	
27				カンキツ摘果
6/3	水稻播種			
10				害虫防除
17	水稻田植え			
24				カンキツ園施肥
7/1		露地野菜栽培		
8				カンキツ園草生管理
15			キク定植, トルコギキョウ交配・ツバキ挿し木	
22				防風樹管理

教育活動

10/7				鉢植え樹管理
14	籾出し・稲刈り	施設ナス・トマト・キュウリ栽培		
21				カキ収穫・脱渋
28	大豆収穫・籾摺り		デルフィ、トルコギキョウ栽培・キク収穫	
11/4				カンキツ園施肥
18		施設野菜栽培		
25				早生ウンシュウ収穫
12/2	小麦播種	タマネギ定植		
9				普通ウンシュウ収穫
16		キャベツ定植	デルフィ、トルコギキョウ栽培	
1/6				カンキツ園堆肥施用
13	大麦・小麦の中耕・追肥		デルフィ、トルコギキョウ栽培・ニチニチ草鉢上げ	
27				中・晩カンキツ収穫

注) 普通作物, 野菜, 花卉; 学内農場農事部, 果樹; 唐湊果樹園

(4) 農場実習 C (必修)

対象: 生産環境工学コース・農業経営経済学コース2年(4期)~3年(5期), 27名

日程: 半日実習(毎週金曜日午後)

単位: 2(30週)

実習施設: 学内農場農事部, 唐湊果樹園

担当教員: 山本雅史・下田代智英・津田勝男・坂田祐介・橋本文雄・清水圭一・黒田治之

担当技術職員: 松元里志・福留弘康・田浦一成・川口昭二・野村哲也・中野八伯

目標: 農業全般に関する基本技術の習得, 普通・園芸作物のライフサイクルおよび普通・園芸作物などの成長と自然環境の関係を理解させる。

内容: 第22表に示すように, 普通作物, 園芸作物(野菜, 花・観賞植物, 果樹)などの栽培管理技術の習得と播種から収穫までの作物のライフサイクルを通じた観察と栽培管理の実習を行った。

第22表 農場実習 Cの実習内容(2005~2006)

月日	分野別の実習内容			
	普通作物	野菜	花卉	果樹
4/15				接ぎ木
22			キク母株摘心 デルフィの交配種子採種	
5/6				果樹苗鉢替え
13	ヤムイモ・甘藷植え付け			
20				モモ摘果・袋掛け
27	水稻播種			
6/3				ゴマダラカミキリ防除
10		ナス・トマト・キュウリの栽培		
17				カンキツ園施肥
24	水稻田植え			
7/1				カンキツ園草生管理
8			トルコギキョウ交配 ツバキ挿し木	
15				防風樹管理
22		ナス・トマト・キュウリの栽培		
10/7	稲刈り	施設野菜栽培		
14				カキ収穫・脱渋
21	水稻脱穀・甘藷収穫			
28				カンキツ園施肥
11/4	水稻籾摺り・ダイズ収穫		デルフィ、トルコギキョウの栽培・キク収穫	
18				早生温州ミカン収穫
25		タマネギ・キャベツ定植		

12/2				普通温州ミカン収穫
9	小麦播種		デルフィ、トルコギキョウの栽培・スイートピー定植	
16				ボンカン収穫
1/6	大麦・小麦の中耕, 追肥	キャベツ追補・中耕		
13				カンキツ園堆肥施用
27		育苗土づくり	デルフィ、トルコギキョウの栽培	

注) 普通作物, 野菜, 花卉; 学内農場農事部, 果樹; 唐湊果樹園

(5) 農場実習 A (必修)

対象: 植物生産学コース2年生(4期)~3年生(5期), 50名

日程: 集中実習(4期3日間, 5期3日間)

単位: 1

実習施設: 学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場

担当教員: 遠城道雄・山本雅史・下田代智英・坂田祐介・橋本文雄・清水圭一・黒田治之

担当技術職員: 松元里志・福留弘康・田浦一成・川口昭二・野村哲也・中野八伯・福村和則・長野幸男・木山孝茂・谷村音樹

目標: 生物生産学特別実習および農場実習で習得してきた栽培技術を再確認するとともに, 普通・園芸作物に関する栽培技術をより向上させる。

内容: 第23表に示すように, 講座別(作物生産学, 園芸生産学, 病虫制御学)に指定された実習施設において, 普通作物および園芸作物に関する専門的な実習を行った。

第23表 農場実習の実習内容(2005~2006)

月日	施設別・講座別の実習内容					
	学内農場農事部		唐湊果樹園		指宿植物試験場	
	作物生産学	作物生産学	病虫害制御	園芸生産学	園芸生産学	病虫害制御
8/2	水稻成育調査				場内説明, パッションフルーツ定植準備	
3	畑地除草				果樹観賞植物管理, 挿し木苗鉢上げ	
4	雑草判別				果樹観賞植物管理	
8/9			草生管理			
10			防風樹管理・害虫防除			
11			カンキツの摘果・病害防除			
2/28				カンキツ園施肥・収穫		場内説明, ビニルハウス移動
3/1				カンキツ剪定, 果樹植え付け		果樹観賞植物管理, 挿し木苗鉢上げ
2				防風樹管理・鉢管理		果樹観賞植物管理
4/4		ニンジン・タマネギ収穫				
5		花壇の整備				
6		生産物販売				

(6) 農場実習 B (必修)

対象: 家畜生産学コース2年(3期), 24名

日程: 集中実習(5日間)

単位: 1

実習施設: 入来牧場

担当教員: 伊村嘉美・黒田治之

担当技術職員: 池田博文・花田博之・内村利美・片平清美・廣瀬 潤・西谷 篤・龍野巳代

教育活動

目標：草地、家畜および家畜糞尿の管理技術を現場での実習を通して習得させるとともに、畜産に関する理解を深める。

内容：第24表に示すように、草地の利用・管理、家畜（肉用牛および肉用豚）の飼養管理、家畜糞尿の処理における基本技術の目的とその実施方法を概説し、実際にその作業を体験させる実習を行った。

第24表 農場実習 Bの実習内容 (2005)

月日	実 習 内 容
8/8	オリエンテーション、施設、家畜、農業機械類の見学、豚の出荷、夕方の日常管理
9	朝の日常管理、鼻紋採取、直腸検査、夕方の管理
10	朝の日常管理、除角、去勢、ヤギの行動調査、排水路の改修工事、夕方の日常管理
11	朝の日常管理、牛の体重測定、鼻環装着、豚肉の整形、牧柵補修、夕方の日常管理
12	朝の日常管理、農業機械運転実習、小テスト、まとめの質疑応答、清掃

(7) 農場実習 C (選択)

対象：食品機能化学コース3年(5期), 15名

日程：集中実習(5日間)

単位：1

実習施設：入来牧場

担当教員：伊村嘉美・黒田治之

担当技術職員：池田博文・花田博之・内村利美・片平清美・廣瀬 潤・西谷 篤・龍野巳代

目標：草地、家畜および家畜糞尿の管理技術を現場での実習を通して習得させるとともに、畜産に関する理解を深める。

内容：第25表に示すように、草地の利用・管理、家畜（肉用牛および肉用豚）の飼養管理、家畜糞尿の処理における基本技術の目的とその実施方法を概説し、実際にその作業を体験させる実習を行った。

第25表 農場実習 Cの実習内容 (2005)

月日	実 習 内 容
8/8	オリエンテーション、施設、家畜、農業機械類の見学、豚の出荷、夕方の日常管理
9	朝の日常管理、鼻紋採取、直腸検査、夕方の管理
10	朝の日常管理、除角、去勢、ヤギの行動調査、排水路の改修工事、夕方の日常管理
11	朝の日常管理、牛の体重測定、鼻環装着、豚肉の整形、牧柵補修、夕方の日常管理
12	朝の日常管理、農業機械運転実習、小テスト、まとめの質疑応答、清掃

(8) 家畜生産学実習 (選択)

対象：家畜生産学コース3年(年間), 24名

日程：随時

単位：1

実習施設：学内農場畜産部

担当教員：吉田光敏・伊村嘉美・黒田治之

担当技術職員：なし

目標：家畜・家禽の育種管理における最新技術、家畜・家禽の繁殖管理における最新技術および家畜・家禽の飼養管理における最新技術を習得させる。

内容：実習期間は4月から翌年3月まで、実習時間は午前9時から午後5時までを原則とするが、他講義の履修状況や緊急の動物管理で時間外に及ぶこともある。内容によっては小グループに分かれて、共同実習を行う。主な実習内容は第26表に示すとおりで、動物飼育棟にて飼養されている家畜・家禽を対象として、日常の育種、繁殖および飼養管理業務を実地体験し、それらに係わる基本的技術に関する実習を行った。

第26表 家畜生産学実習 の実習内容 (2005~2006)

月日	実 習 内 容
随時	1) 家畜・家禽のハンドリング 2) 家畜・家禽の生理機能のモニタリング 3) 家畜・家禽の育種繁殖 4) 飼料の生産(牧草・青刈作物の栽培、調製) 5) 飼料の調製と給与 6) 糞尿処理 7) 疾病予防と対策 8) 管理機器類の基本操作

(9) 家畜生産学実習 (選択)

対象：家畜生産学コース4年(年間), 24名

日程：随時

単位：1

実習施設：学内農場畜産部

担当教員：吉田光敏・伊村嘉美・黒田治之

担当技術職員：なし

目標：家畜・家禽の育種管理における最新技術，家畜・家禽の繁殖管理における最新技術および家畜・家禽の飼養管理における最新技術を習得させる。

内容：実習期間は4月から翌年3月までで，実習時間は午前9時から午後5時までを原則とするが，他講義の履修状況や緊急の動物管理で時間外に及ぶこともある。内容によっては小グループに分かれて，共同実習を行う。主な実習内容は第27表に示すとおりで，動物飼育棟にて飼養されている家畜・家禽を対象として，日常の育種・繁殖および飼養管理業務を実地体験し，それらに係わる基本的技術に関する実習を行った。

第27表 家畜生産学実習 の実習内容 (2005～2006)

月日	実 習 内 容
随時	1) 家畜・家禽のハンドリング
	2) 家畜・家禽の生理機能のモニタリング
	3) 家畜・家禽の育種繁殖
	4) 飼料の生産(牧草・青刈作物の栽培，調製)
	5) 飼料の調製と給与
	6) 糞尿処理
	7) 疾病予防と対策
	8) 管理機器類の基本操作

(10) 農場実習 (必修)

対象：食糧生産化学コース3年(5, 6期), 20名

日程：集中実習(5期3日間2回, 6期3日間2回)

単位：2

実習施設：学内農場農事部，唐湊果樹園，指宿植物試験場

担当教員：遠城道雄・山本雅史・下田代智英・津田勝男・坂田祐介・橋本文雄・清水圭一・黒田治之

担当技術職員：松元里志・福留弘康・田浦一成・川口昭二・野村哲也・中野八伯・福村和則・長野幸男・木山孝茂・谷村音樹

目標：農業全般に関する基礎的技術の習得，普通作物および園芸作物の成長と自然環境の関係および季節による作物の生育と栽培技術の違いを理解させる。

内容：第28表に示すように，普通作物と園芸作物(野菜，花・観賞植物，果樹)などを中心に栽培管理技術に関する実習を行った。

第28表 農場実習の実習内容 (2005～2006)

月日	施設別の実習内容		
	学内農場農事部	唐湊果樹園	指宿植物試験場
8/2		草生管理	
3		防風樹管理・害虫防除	
4		カンキツの摘果・挿し木	
9			場内説明，パッションフルーツ定植用土搬入
10			果樹観賞植物栽培管理，グアバの夏剪定と葉の収穫，挿し木苗の鉢上げ
11			果樹，観賞植物栽培管理
9/27	施設野菜管理		
28	施設キク管理		
	水稻観察		
29	野菜育苗管理		
3/14			場内説明，ビニルハウス移動
15			堆肥散布，果樹観賞用植物栽培管理，ジャガイモ収穫，農作業機械の操作
16			果樹観賞植物管理

(11) 食品加工実習 A (必修)

対象：家畜生産学コース3年(6期), 24名

日程：集中実習(4日間)

単位：1

実習施設：入来牧場

担当教員：伊村嘉美・青木良孝・黒田治之

担当技術職員：池田博文・花田博之・内村利美・片平清美・廣瀬 潤・西谷 篤・龍野巳代

目標：講義で学んだ食品加工の原理について、実際にどのように行われているかを実習において体験することによって、その理解をさらに深める。

内容：第29表に示すように、ハム、ソーセージ、ベーコン等について、原料の処理から製品に仕上げるまでの実習を行った。

第29表 食品加工実習の実習内容(2005)

月日	実 習 内 容
12/6	ベーコンの薫製開始、牛肉の筋引き・処理、豚肉の処理、肉挽き、乾塩漬け
7	プレスハムミックス、セミドライソーセージ、ソーセージ各ミックス製造、薫製、ボイル
8	ロースハム、ボンレスハム、ベーコンの結さつ、薫製、ボイル、プレスハムミックス、セミドライソーセージ、ソーセージの再包装、製品の整理
9	ロースハム、ボンレスハムの再包装、ベーコンのスライス・包装、製品の試食

(12) 食品加工実習 B (必修)

対象：食品機能化学コース3年(6期), 15名

日程：集中実習(4日間)

単位：1

実習施設：入来牧場

担当教員：伊村嘉美・青木良孝・黒田治之

担当技術職員：池田博文・花田博之・内村利美・片平清美・廣瀬 潤・西谷 篤・龍野巳代

目標：講義で学んだ食品加工の原理について、実際にどのように行われているかを実習において体験することによって、その理解をさらに深める。

内容：第30表に示すように、ハム、ソーセージ、ベーコン等について、原料の処理から製品に仕上げるまでの実習を行った。

第30表 食品加工実習の実習内容(2006)

月日	実 習 内 容
2/28	ベーコンの薫製開始、牛肉の筋引き・処理、豚肉の処理、肉挽き、乾塩漬け
3/1	プレスハムミックス、セミドライソーセージ、ソーセージ各ミックス製造、薫製、ボイル
2	ロースハム、ボンレスハム、ベーコンの結さつ、薫製、ボイル、プレスハムミックス、セミドライソーセージ、ソーセージの再包装、製品の整理
3	ロースハム、ボンレスハムの再包装、ベーコンのスライス・包装、製品の試食

(13) 牧場実習

対象：獣医学科3年(5期), 33名

日程：集中実習(5日間)

単位：1

実習施設：入来牧場

担当教員：伊村嘉美・黒田治之

担当技術職員：池田博文・花田博之・内村利美・片平清美・廣瀬 潤・西谷 篤・龍野巳代

目標：草地、家畜および家畜糞尿等の管理技術を習得させ、畜産に関する理解を深める。

内容：第31表に示すように、5日間の集中宿泊実習のなかで、草地の利用・管理、家畜の飼養管理、家畜糞尿の処理における基本技術の目的とその実施方法を概説し、実際にその作業を体験させる実習を行った。

第31表 牧場実習の実習内容(2005)

月日	実 習 内 容
5/16	オリエンテーション、牧場見学、家畜糞尿処理
17	家畜の日常管理、小牛の除角
18	家畜の日常管理、体側、小牛の去勢と除角

- 19 家畜の日常管理，採血，草地管理
20 家畜の日常管理，農業機械運転，テスト，まとめ，施設の清掃
-

2 講義

農場専任教員は，上記の農場実習の他に，下記の講義を開講している。

1) 大学院

- ・果樹生態学特論（後期・2単位） 黒田治之
- ・国際農業資源学特論（後期・2単位） 遠城道雄

2) 農学部

- ・卒業論文（前後期・6単位 分担） 遠城道雄・伊村嘉美

3) 共通教育

- ・新しい食と農のかたち（前期・2単位 分担） 遠城道雄
- ・国際協力農業体験講座（前期・2単位 分担） 遠城道雄・伊村嘉美
- ・作物生産学概論（前期・2単位 分担） 遠城道雄

3 国際交流

JICA 研修生（パナマ国）の受け入れ（1名）

研修施設：唐湊果樹園，指宿植物試験場

時 期：8月10日～8月24日（14日間）

内 容：熱帯果樹栽培および熱帯植物栽培についての実技研修。